

心不全(軽症) 入院された患者さまへ

ID

氏名

様

主治医	看護師		薬剤師・栄養士・リハビリテーション		特別な栄養管理の必要性（ 有・無 ）		
日付	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日			月 日～ 月 日	月 日	
経過	急性期(1～4日目)		回復期(5～9日目)			退院準備期(10～11日目)	退院
目標	息苦しさがなくなる	動いても 息苦しさがなくなる	ベッドサイドに座ることができる	棟内廊下を歩けるようになる	心不全の増悪の要因を振り返ることができる	日常生活の注意点を知ることができる	
検査	病状によって採血・レントゲン・心筋シンチ・心エコー・心臓CT・MRI・心臓カテーテル検査などを行います						
注射・点滴	医師の治療方針によって注射が開始となることがあります						
内服	医師の治療方針によって飲み薬が開始、変更となります		薬剤師によりお薬について説明があります（ / ）				
処置	心電図モニターを装着します 必要時、酸素吸入をすることがあります						
食事	減塩食（塩分6 g 以下）が開始となります	入院5～7日を目安に栄養指導を受けて頂きます（ / ）				再度栄養士からの栄養指導があります（ / ）	
安静度 リハビリ	理学療法士と一緒にリハビリを開始します。リハビリ状況に応じて動ける範囲を確認していきます						
排泄	症状に応じて尿管カテーテルを挿入する事があります 医師の指示により尿量を測定することもあります （男性は尿器・女性は簡易トイレを使用します。ナースコールでお知らせ下さい）			尿管カテーテルが入っている方は、歩けるようになったら尿管カテーテルを抜くことができます			
清潔	症状に応じて清拭・シャワー浴が行えます ご自身で難しい場合はお手伝いします						
説明 指導	検査前日に看護師からの説明があります。入院5～7日を目安に医師からの病状説明があります（ない場合もあります）（ / ）						退院の目処がついたら病状説明があります(/)
	入院してから毎日体重測定を行います	心不全手帳の説明があります	起床後、排尿後に体重測定をし心不全手帳を自分で記入します 心不全の病気についての教育動画（①病気について②薬剤について③栄養について④運動について⑤日常生活の過ごし方について）を見てもらい、入院前の生活を振り返ります	・歩ける方は排尿後、体重を測り体重の値を心不全手帳に記載します ・退院後の生活について確認し指導を行います		・心不全増悪時のサインおよび対処方法・退院後の生活について ・心不全連携ケアシート ・外来受診日の確認・面談 ・生活の注意点の再確認と外来受診について説明します ・教育動画視聴の案内があります。	